

Radio On The Street
西谷文和
路上のラジオ
ファンクラブニュース
4号 2020・7・23

発行責任者：西谷文和
連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33
TEL 06-6170-4757 メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送しています。今後も年に4回程度発行します。

ラジオの聞き方
スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索してください。YOU TUBE で聞けます。チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせが来るので便利です。



長野県松本市 小出先生の事務所にて



「格納容器は壊れないし」ブルトニウム飲んでも安全と言った専門家も

小出 少しでも原子力のことを学んだ人なら、初期段階でメルトダウンしていることはわかったはず。大学の

小出さんこそテレビに出てほしいのに…
—原発反対を訴える小出さんは、絶対にテレビに出られない専門家(笑)ですから、痛烈ですね。福島原発事故直後に「まだメルトダウンしてません」と言った専門家たちは、本当にそう思っていたのか？ それとも国民を騙そうとしていたのか？ どちらなのでしょう。

いい大学に入って、いい会社に入りなさい。末は博

専門家って言うけれど…
—福島原発事故から9年が経過しました。事故直後、テレビに出てきた専門家たちは「まだメルトダウンしていません」「ただちに健康が害されるようなことはありません」などと言っていました。小出さんはずいぶんメルトダウンしている。逃げてくださ

い」とおっしゃった。今回のコロナでもそう。政府の指名した専門家の多くは、当初「発熱しても自宅で待機」「PCR検査をしなくても大丈夫」など、初期対応に失敗したと思います。小出さんから見て、この「専門家集団」はどう見えますか？
小出 みなさんは「専門家」「大学教授」と聞けば、人格高潔で正義感があり間違ったことは言わない、と思っ

7月5日、長野県松本市にお住いの小出裕章氏を訪ねた。2015年に元京都大学原子炉実験所を退官された小出さん、引き続きこの地から原発、戦争反対、安倍政治打倒などのメッセージを発信されている。普段は大阪から電話をつなぎ、小出さんのメッセージをラジオで報道しているが、年に一度くらいは直接インタビューを。今回はそのエッセンスをお伝えしたい。

コロナ、原発、豪雨災害 想定外で逃げける人たち 小出裕章さんにロングインタビュー



原発事故でCMのウソが明らかに



世界に向けてウソを発信した安倍首相

教授も東電の担当者も知っていないが、言えなかった。国の意向は「パニックを防ぐこと」「平常な状態を保ちたい」ことだったので、その空気を読んでいたのでしょう。

「ばんばんCMを流して「原発は壊れません」「未来のエネルギー」と宣伝していたから、ウソがバレるのが怖くて、被害を最小限に見せたかったのですね。

小出 コロナでもそうです。安倍さんは東京オリンピックを予定通り開催したかった。その理由は福島事故をお祭り騒ぎで忘れさせるためです。だから感染拡大していても検査をせず、被害を最小に見せながら、対策をズルズル引き伸ばした。当然これでは感染を止めることができなかつたので、オリンピックの延期が決まり4月になってやっと緊急事態宣言。しかし宣言を出しても検査数が伸びない。なぜか？保健所も病院もリストラされて人員や予算、検査機械が不足していた。私は当初「検査をしない」のが安倍さんの

意向だと思っていました。が、実態はさらにひどくて「検査したくてもその力さえない」状態だったのです。

大阪市ではもともと28あった保健所が2000年に1ヶ所に統廃合されました。08年の大阪オリンピック誘致で金を使うから、保健所がリストラされていたのです。

小出 大阪はそのあとの維新政治でさらに病院や公衆衛生研究所などが潰されました。つまり新自由主義、いわゆる「小さな政府」が間違っていた。市民生活に必要な部署を大事に守るべきだったのです。

次は地震で壊れる？

原発事故、コロナ、そして豪雨災害などで政府は毎回「想定外だった」と言い訳します。次に大規模な地震がきたら、また原発が壊れませんか？

小出 壊れるでしょう。例えば静岡県浜岡原発は1、2号機は廃炉。3、4号機は菅直人首相(当時)の要請で止まっています。中部電力は5号機を再稼働しようとしている。しかし浜岡原発は東海地震の予想震源域のど真ん中に建っているのですよ。

えっ、震源域の中心に？ よりによってなぜそんな所に？

小出 知らなかつたからです。70年代のはじめ、建設時期には東南海地震など話題にもなつていなかった。とにかく土地さえあれば、どこにでも建ててしまつたのが浜岡です。

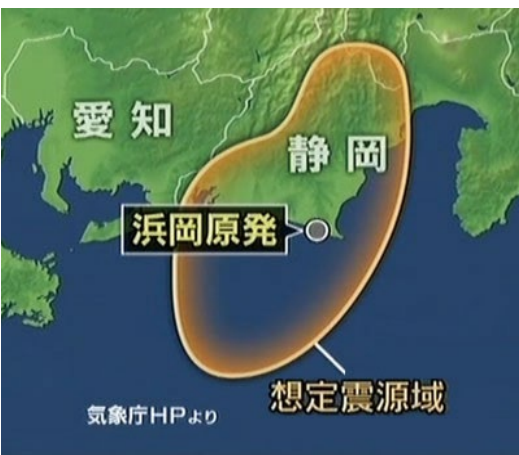
(しばらく絶句) 四国の伊方原発も確か断層の上に？

小出 中央構造線という日本最大の断層の真上に建っています。でも原子力マフィア(ムラと呼ぶ以上に悪質)は何も恐れていません。それは福島で実証済み。事故が起きても「想定外だった」といえば無罪になったからです。何が起きても逃げられる。政府も自民党も東電も原子力委員会も誰も責任を取らないで済むことが確定した。だから彼らは再稼働に突き進むのです。

再稼働反対！ 今すぐ廃炉に

福島原発は東に立地してしまつた。浜岡や伊方が壊れると、放射能は？

小出 偏西風に乗って関西圏、首都圏を直撃します。私が調べたところ、福島事故で約84%の放射能が太平洋へ。残りの16%が東北や関東地方へ。仮に浜岡原発が地震に襲われて壊れてしまつたら東京には住めなくなるでしょう。



建てた時は地震のことを「知らなかつた」



伊方原発も断層の真上に

そんなことになれば、再稼働を進めた安倍さんたちは犯罪者ですよ？

小出 韓国のように塀の中に入れないとダメです。しかし安倍政権が続く限りは無理なので、早期に安倍政権を打倒して次の政権が犯罪者たちを捕まえることにしないとけません。まずは安倍政権を打倒することです。(次号に続く)

あなたのご寄付で発信を続ける
「路上のラジオ」
ご支援よろしくお願いたします

【寄付の宛先】

口座番号	ゆうちょ銀行 00950-6-238014 近畿労働金庫 吹田支店 普通 8788810
口座名義	路上のラジオ (ロジウノラジオ)

豪雨被害は人災だ

今年も豪雨による大災害が発生した。テレビでは河川が決壊する瞬間の映像や土砂に飲み込まれた家屋、救助に向かう人々の様子が流れている。映像とともに叫ばれるのが「観測史上初の豪雨」「想定外の雨量」。でもちょっと待ってほしい。昨年も一昨年も同じフレーズが繰り返されていなかったか？「想定外」と言えば国民が納得するの
か？ 十分予想される事態を放置してきた「アベ政権による人災」ではないか？ 以下検証したい。



言い訳にならない「観測史上最大」

温暖化とアベ政治の失敗で

主に先進国が排出した温室効果ガスによって急速に進む地球温暖化。海水温が高まると大量の水蒸気が発生し、大量の雨雲が発生する。梅雨の時期には線状降水帯、8月以降は大型台風により、今回のような災害は全国各地どこにでも起こりうる。大災害の原因は温暖化だけではない。まずは山の荒廃。海外から安価な木材を輸入し林業が衰退。山に人手が入らなくなり保水力が衰えていることは随分前から指摘されていた。次に農業軽視。農産物輸入自由化で農民が苦しめられ、多数の水田が耕作放棄地になった。水田は天然のダムである。米国の圧力に屈し、国の基幹産業である農業を売り渡した歴代自民党の罪は重い。被害を拡大させているのが、「平成の大合併」だ。全国各地の市町村を無理やり合併させたため、役場が支所になり職員数が大幅に削られた。災害対策本部は都道府県、市町村に置かれるのだが、そこに職員がいなければ、被災者は救済されない。本来は国や自治体ができるべき仕事を多数のボランティアに頼っているのが実情である。ほとんどの地方都市

は財政赤字である。17年の九州北部豪雨の際、朝倉市の住民が「砂防ダムに土砂が溜まっているから浚渫して欲しい」と要望していたが、予算がないので後回しにされ、土石流被害につながっている。そして縦割り行政の弊害が追い打ちをかける。河川の浚渫や堤防のかさ上げは国土交通省。浸水した家屋から出るヘドロ、腐った畳などの被災ゴミは環境省。避難所は厚生労働省、ボランティアの受付は社会福祉協議会、救援部隊は消防庁や自衛隊…。

防災省を創って予算と人員を確保せよ

今後も大災害は続く。だから「防災省」が必要だ。本来は国が予算と人員をつけて万難を排して取り組むべき仕事を、「ボランティアたちの善意」で済まそうとしている。コロナと大災害に見舞われた日本、オリンピックや万博を中止し、F35戦闘機やオスプレイなどの爆買いをやめて、浮いた予算を防災に回す。私たちはコロナウィルスに勝てないので共存するしかない。同様に大型台風や線状降水帯と共存し、「いかに被害を小さく防ぐか」が問われている。全て「想定外」で片付けようとする政府では被害を抑えることはできない。「命を守る」「誰も飢えさせない」のが本来の国の役割だ。かつてアベ首相の選挙スローガンは



豪雨の中で「赤坂自民亭」。西村康稔コロナ担当大臣がこの写真をツイート

「日本を取り戻す」だった。実際に彼がやったことは「日本を売り渡す」だった。象徴的だったのが2年前の西日本豪雨。大雨特別警報が出て各地に被害が開始するとき、「赤坂自民亭」。首相の後ろには西村康稔コロナ担当大臣。彼の選挙区は西日本の兵庫県、つまり有権者を見捨てて酒を飲んでいた人が、コロナ危機対応をしているのだ。コロナで失業倒産が相次いでいるときに電通やパソナなどの「お友達」に税金を中抜きさせながら、国民にはマスク2枚！こんなバカなことはない。この秋にも解散総選挙があるかもしれない。今度こそ「アベ打倒！」で連帯しよう。

滋賀県警、大津地検は 西山さんに謝罪せよ



今年3月31日、湖東記念病院事件で西山美香さんに再審無罪判決が出た。「路上のラジオ」では西山さんご本人と弁護士長の井戸謙一弁護士に出演していただき、「無実なのに懲役12年。こんな被害は私を最後にしてほしい」と題して発信中である。2003年5月22日未明、入院患者Aさん(72)が心肺停止状態に。オムツ交換で病室に入った看護師Bさんと看護助手の西山さんが発見。この時アラームは鳴って

が作り上げられていく。詳細はラジオを聴いていただくとして、私の意見を以下簡約しておきたい。

- 1 西山さんが山本警察官に恋をしていて、山本氏の言う通りに供述をコロコロ変えることを県警は知っていた。本来なら担当者を変えないといけな
- 2 本来なら数時間毎に「タンの吸引」をしなければならぬが、湖東記念病院では「アラームが鳴ってから病室へ」、というのが常態化していた。背景に病院のリストラ、人員体制の不備がなかったか？

- 3 滋賀県警が集めた証拠を、検察に開示していなかった。この事件を教訓に証拠は全面開示すべきである。
- 4 無罪判決の際、捜査機関に対して裁判長が異例の「遺憾&注意勧告発言」をしている。しかし県警も検察もいまだに西山さんとそのご家族に謝罪していない。こんな態度ではまた冤罪が繰り返されるのではないか？ 猛省を求めたい。

「路上のラジオ」では繰り返される冤罪事件について、今後でもできる限り当事者の方々から生の声で伝えていきたいと考えています。

7月、各地で豪雨被害が出ています。亡くなられた方、怪我をされた方、家や財産、住み慣れた町を失った方、被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げます。先日の小出裕章先生との対談にもありましたが、自然の歯車がどこかバランスを崩し軌みはじめているのがただただ恐ろしく心配でなりません。

そんな折、家を失った方がニュース映像の中で「何の試練なんだろう…」と嘆かれています。のを見ました。私たちは、どれほどその方の苦しみや悲しみ、絶望を自分事に行き届けるのかと考えます。むしろそれより私たちは私たちが忙しく、目の前の暮らしに追われている。コロナで激減した収入をどうリカバリーするか、今日の夕飯をどうするか、子どもの洗濯物が乾いていない、明日の服を選んでアイロンをかけておかなければ…。気が付けば番組は、お笑い芸人がおどけている映像に変

わっています。

作家の藤本義一さんが生前、阪神淡路大震災の際、ヘリコプターに乗ってリポートをする仕事をきっぱりと断ったという話をどなたから聞きました。後にその話は、瓦礫の中から救護を求める被災者の声が報道ヘリの音でかき消されることへの怒りであったとわかりましたが、何れにしても、空から被災地を取材して見えるものなどないとお考えになったことは確かだと思えます。そのジャーナリスト魂をリスペクトしたいと思います。

こちらもう故人となられましたが、永六輔さんが46年間続けた世界最長寿(と言われる)ラジオ番組「誰かとどこかで」(TBS)。私は、その最後の4年間の制作スタッフのひとりでした。永さんがいつも大切にされていたことは、「電波の届く先に行って話を聞いてきてそれを話して番組にする」ことでした。こちらもまたそのラジオ魂を、

編集後記

このニュースがみなさんのお手元に届いている頃、ディレクターの山本と私は東京で次回と次々会の収録をしています。7月31日は「第5金曜日スペシャル」と題して評論家の佐高信さん、そして8月14日の第2金曜日に東京都知事選挙で奮闘された宇都宮健児さんをゲストにお招きして放送する予定です。7月は長野県松本市に出張して小出先生のロングインタビューを収録することができました。今回の東京出張も実りあるものにしていきたくと考えています。十分な資金もスタッフもなく「ウソだらけの安倍政権を打倒したい」と気合だけでスタートさせた路上のラジオ、なんとかみなさんご支援で、出張収録できるまでになりました。引き続き奮闘しますので、変わらぬご支援をよろしく願いいたします。

(ディレクター・山本 索)